

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

NHKのど自慢

撮影：昭和58(1983)年6月19日



昭和58年に「NHKのど自慢」大会が、牛久第三中学校体育館で行われました。これは科学万博会場玄関口としての牛久町を全国にPRし、人口急増が続く中で希薄になりがちな新旧町民の交流の輪を広げるために開催されました。テレビ・ラジオで大人気の番組ということもあり、出場申込者は

1000人以上、観覧申込者は6000人以上もいました。本戦に出場した25組は、歌声と共に牛久町の特産物である西瓜と落花生の魅力も全国に届けました。チャンピオン賞、特別賞が決定すると、会場を埋め尽くした1300人の観覧者は惜しめない拍手を送りました。



明治・大正・昭和の「昔のうしく」の写真を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

ヒサカキの樹形：牛久町八坂神社の境内
平成24年10月26日撮影



果実：牛久自然観察の森
平成23年10月19日撮影

第27回

ヒサカキ

岩手県・秋田県以南、琉球に分布するツバキ科の高さ4〜8mの常緑広葉樹の小高木です。市内では斜面林などに自生する他、神社の境内などに植栽されています。葉身は楕円形または倒披針形、長さ3〜7cm、先に向かってゆるや

かに細り、先端は丸くやや反りかえり、縁は鈍い鋸歯があります。雌雄異株。径2.5〜5mmの黄白色をおびた壺形の花を葉腋に1〜3個下向きに咲かせ、独特の匂いを放ちます。果実は球状液果で、秋に紫黒色に熟します。サカキのないうちでは、サカキの代用として神事に用いられます。名前は姫サカキのなまりで、サカキに比べて小形であることに由来します。
※牛久の里山樹木ハンドブック68ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章および写真：戸塚昌宏)

文芸さろん | 弥生 |

青春はセピア色したアルバムに 席ひとつ空けて待つ夜の冬銀河	山崎さん
身のひとつ身をいとおしみ春を待つ	高階さん
枯木立通り抜ければ春の色	鈴木さん
うたた寝にチャイコフスキー春立ちぬ	和多田さん
境内の書店に並ぶ花だより	我氏
潮の香のまぼろしをさく野水仙	静枝
	倭文子

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係 FAX：873-2512

E-mail：kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)